

予 算 要 求 資 料

令和 3 年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：交通指導取締費

事業名 通信指令室維持費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 地域部 通信指令課 電話番号：058-271-2424 (内 3611)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 408,541 千円 (前年度予算額：408,541 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一 般 財 源
前年度	408,541	0	0	0	0	0	0	0	408,541
要求額	408,541	0	0	0	0	0	0	0	408,541
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県警察では、110 番通報 (令和元年受理件数 122,477 件) に対応するため、「総合通信指令システム」を構築し運用している。

「総合通信指令システム」は、迅速な 110 番通報受理、パトカー等に対する的確な指令、緊急配備の発令、緊急車両の早期現場臨場、大規模災害等の各種事案に対する迅速・的確な対応が可能となるなど、初動警察活動の中心的役割を果たしている。

“安全・安心な「清流の国ぎふ」づくり”に貢献するために、岐阜県警察の心臓部である総合通信指令システムを常に良好な状態に保ち、24 時間体制の運用を行う必要がある。

(2) 事業内容

- ・通信指令室各種機器の維持管理
- ・総合通信指令システムの借上及び改修

債務負担行為額 2,300,000 千円 (平成 28 年度～令和 4 年度)

(3) 県負担・補助率の考え方

県民の110番通報等に対して、迅速・的確に対応するためのシステム機器の維持・保守経費で、県民の安全・安心の確保には欠くことのできない事業であり、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
需用費	6,451	通信指令システム用消耗品
使用料及び 賃借料	402,090	総合通信指令システム賃借
合計	408,541	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-③ 犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調査（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 110番通報等県民からの緊急通報に対して、迅速・的確な対応を可能とする総合通信指令システムを24時間体制で運用するために、各種システムを計画的に更新し、県民の安全・安心を確保する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年末時点)	目標	達成率
110番受理状況	(H)	126,240件 (H29)	126,907件 (H30)	122,477件 (R元)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

総合通信指令システム等を24時間・365日安定稼働させて県民の安全・安心を確保することが目的であるため、指標を設定することは困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 平成28年度から2か年で包括的に更新し、平成30年度から運用を開始した総合通信指令システムの安定稼働に必要な維持管理・保守を行った。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 高度化した総合通信指令システムを十分に活用することにより、110番通報等に対する迅速・的確な対応に努め、システムの安定稼働に必要な維持管理・保守を行っていく。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	110番通報等に対する迅速・的確な対応を指揮する通信指令室は、初動警察活動の要であり、総合通信指令システムはその根幹をなしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	110番通報等に対して、総合通信指令システムを効率的に運用し、通信指令室と現場警察官との情報共有、警察官の効率運用等を図り、迅速・的確な対応を可能にしている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	各種システムの更新整備にあたっては、一部の機器を継続利用し予算軽減を図るとともに、リンクするシステムとの合理的な更新計画を策定し、システムの運用を行っている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>警察が取扱う事件・事故の多様化・スピード化等により、初動警察活動の困難性が増しており、新たな社会情勢の変化に対応するため、総合通信指令システム等を定期的に更新し、高度化を図る必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>110番通報等、県民からの緊急通報に24時間365日、迅速・的確に対応するため、総合通信指令システム等の安定稼働に必要な維持管理・保守等を継続して行っていく。</p>

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】
--	-------

